

第 6 回 北陸銀行若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名		助成金額
佐藤尚平	人間社会研究域法学系・准教授		500,000 円
研究課題名	イギリスに対するアラビア半島東部の抵抗運動の研究： 新出資料「帝国の遺産作戦」関連文書群の解題		
研究の概要	〔研究開始当初の背景、研究の目的、研究の方法等について記入〕 近年、イギリス帝国が 20 世紀中葉に世界中の植民地で処分したはずの大量の行政文書が「手違い」により実はロンドン郊外に残されていたことが明らかになった。イギリスとアジア・アフリカ地域、今日我々の生きている世界が「忘れたはず」の記憶だ。本研究は、この忘れられた記憶を掘り起こすことを目的とした。特に、イギリス帝国に対するアラビア半島東部の抵抗運動に注目し、中東の他地域で隆盛したアラブ・ナショナリズムが半島東部にどのような影響を及ぼしたのかを検討した。		
研究の成果	イギリス国立公文書館に渡り、新たに公開された新出資料「帝国の遺産作戦」関連文書群を分析した結果、次のことが明らかになった。 まず、近年存在が明らかになった約 60 万ファイルのうち、現在公開されているのは約 2 万ファイルである。この 2 万ファイルのうち、中東地域に関連すると思われるファイルを網羅的に調査した限りでは、アラビア半島東部の抵抗運動に関する決定的な情報は含まれていない。これについては、残りの 58 万ファイルの公開を待ちながら、アラビア半島現地でも資料調査を行うなど地道に検討を続けている。 一方で、公開されている 2 万ファイルには当初採択者が想定していなかった貴重な情報が含まれていることも判明した。それは、この歴史的な文書隠滅工作がどのように決定され、どのように実行されたのかという意味決定過程についての情報である。これは、今日我々の生きている世界が「忘れたはず」の記憶がどのように生成されたのかという問題を解決する重要な手がかりであり、イギリス帝国のみならずアジア・アフリカ地域の歴史にとって重要な研究課題を与えてくれる。 こうした成果をまとめ、国内外の学会や出版物、インターネットを通じて発信した。		
研究成果発表状況	〔雑誌論文、学会発表、図書、新聞掲載、研究に関連して作成した Web ページ等について記入〕 ① Shohei Sato, 'Decolonization and the Migrated Archives from Asia and Africa to Britain', in Kazuaki Sawai, Yukari Sai and Hirofumi Okai (eds), <i>Islam and Multiculturalism: Exploring Islamic Studies within a Symbiotic Framework</i>, Tokyo: Organization for Islamic Area Studies, Waseda University, 2015, pp. 73-84. ② Shohei Sato, 'Book Review of S.B. Kelly (ed), <i>Fighting the Retreat from Arabia and the Gulf</i>', <i>Journal of Arabian Studies</i>, vol. 4, no. 1, 2014, pp. 150-151. ③ 佐藤尚平「脱植民地化の新地平：新出資料『帝国の遺産作戦』関連文書群の解題」、日本国際政治学会 2014 年度研究大会、於福岡、2014 年 11 月 16 日。 ④ Shohei Sato, 'British Historical Records about Middle East in Public Records Office in Kew Garden'. (ニューヨーク大学・マラヤ大学・早稲田大学共催、国際会議「イスラムと多元文化主義」、於マレーシア、2014 年 12 月 13 日)。 ⑤ 佐藤尚平「忘れたはずの記憶：新出資料『イギリス帝国の遺産作戦』関連文書群」ウェブサイト『アジア学の最前線』（東京大学東洋文化研究所）2015 年 1 月 7 日アップロード。		
経費の執行状況	区 分	執行額（円）	備 考
	旅費	500,000	イギリスへの往復の渡航費と滞在費